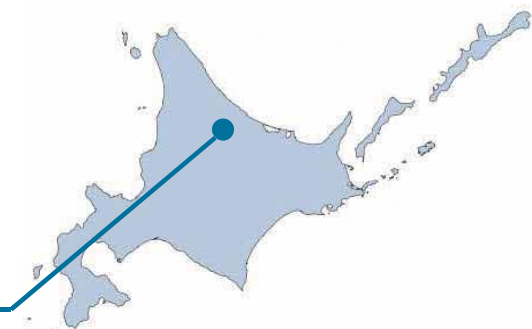


市町村プロジェクト

第1部	滝上町	p. 1
	剣淵町	p. 4
	美唄市	p. 7
	北広島市	p. 10
	札幌市	p. 13
第2部	鹿追町	p. 16
	上川町	p. 19
	鷹栖町	p. 22
	森町	p. 26
	黒松内町	p. 28
	幌加内町	p. 32
交流会	上砂川町	p. 35

滝上町



滝上町長 清原 尚弘 様

人口：約2千人
面積：約767km²

「心地よさ」で地域を強くする

企業様 × 滝上町で創る、女性を意識した地域活性化モデル



人口 2,139人
男性 1,046人
女性 1,093人

基幹産業は農業・林業・観光



ZERO
CARBON
HOKKAIDO
TAKIKOU

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**

～女性の視点から創る、100年先を見据えた童話村たきのうえ～

背景と、解決すべき「無意識の男性視点」

滝上の人口減少の偏り

「人いきいき町わくわく童話村たきのうえ」を目指す100年のまちづくりにおいて、避けて通れない最大の難所

- 生産年齢人口女性の流出：滝上町において、人口維持に不可欠な現役世代の女性が都市部へ流出する構造的な課題。
- 持続可能性の危機：地域産業・経済を活性化するために、人材の育成・確保、意識改革・変革が求められています。

見過ごされてきた「男性視点」インフラ

従来のまちづくりは、無意識のうちに男性目線で設計されてきた側面が存在

- 偏る負担・少ないキャリア：家事・子育ての負担が女性へ偏りやすく、地域内での自己実現やキャリアの選択肢が限られ、結果として滝上町内の生産年齢人口が流出している。
- 女性の声の未反映：行政サービスや施設運営への要望（例：公共エリアにおける女性用トイレの圧倒的不足など）の拾い上げ不足。

滝上町が描く「2つのウェルビーイングビジョン」

VISION 1

女性への発信強化（届く・響く発信）

滝上町の魅力を「女性目線」を意識して発信。関係人口や活動人口の増加、移住希望者に向けてSNSやメディアで戦略的に届けます。「豊かな自然」だけでなく、ここで「自分らしく生きられる場所」としてのブランドを確立します。

VISION 2

女性が暮らしやすい町（ハード・ソフトの改革）

従来の環境やインフラ、行政サービスを全面的に点検。女性の心身の健康（ウェルビーイング）、キャリアアップ、そして安心して子育てができる環境を多角的にアップデートします。

- ✎ 日本一の芝ざくらとハッカが織りなす香り、渚滑川の澄んだ水、豊かな森と循環型林業、耕畜連携の循環型農業、こだわりのヒグマ対策は、都会で働くビジネスパーソンにとっても最高の癒やしリソースとなります。



企業の皆様にお力添えいただきたい「3つの協働」

① 企業版ふるさと納税

ウェルビーイングへの寄付

- ✓ 女性活躍や環境整備プログラム等、ターゲットを絞ったピンポイント支援の実施。
- ✓ 貴社のCSR・ESG活動、ジェンダー平等推進のアピールと強度に連動。

② 商品・事業・ノウハウ

技術やノウハウの共有

- ✓ フェムテック製品や家事負担を減らす先端ソリューションのテスト導入。
- ✓ 女性向けマーケティング・ブランディング知見の適用、体験イベントの共同開催。

③ 人的支援 (プロボノ等)

外部視点による変革

- ✓ 女性目線でのまちづくりを牽引するエキスパートや推進人材の派遣。
- ✓ 外部ならではの新鮮な目線から、既存のインフラや行政サービスの「点検」へ参画。

企業が参画するメリット

新サービスの「実証実験の場」として

「女性活躍の町」として進化する滝上町を、先端の商品やサービスを検証する絶好のテストマーケティングフィールドとしてご活用いただけます。

ESG経営の強化と社員のエンゲージメント向上

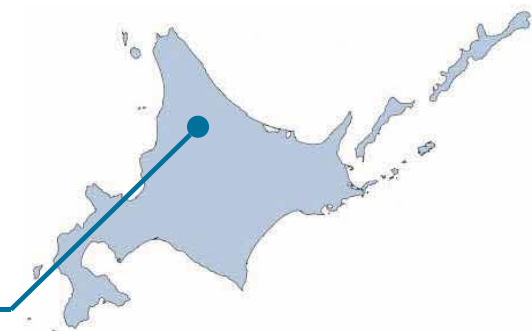
ジェンダー平等×まちづくりの取り組みは、ステークホルダーへの力強いアピールとなります。ワーケーション等による人的支援は、次世代リーダー育成にも寄与します。

「女性が変われば、家庭が変わる。家庭が変われば、滝上が変わる。そして北海道、日本が変わります。」

滝上町の未来に、貴社の「知恵」「技術」「情熱」を投資しませんか。共感に基づく協働をお待ちしております。



剣淵町



剣淵町長 西岡 将晴 様

人口：約 3 千人
面積：約131km²

絵本の里けんぶち魅力化
パートナーズプロジェクト
～一緒に絵本の里づくりをはじめませんか？～

剣淵町長 西岡 将晴

重点プロジェクト

全国初の絵本による町おこし条例を制定（令和8年4月1日施行）

「つなぐ、ひろげる剣淵町絵本の里づくり条例」

（内容）まちづくりの根幹となっている絵本の里づくりを
次世代につなぎ、未来・全国に向けてひろく発信

絵本の里づくりを**地域文化の象徴**として、
子育て世代に選ばれるまち・優しい心を育む
まち、親子愛のまちを目指す

絵本は「ひとづくりの原点」



絵本の里けんぶち魅力化パートナーズプロジェクト

■絵本の里づくりプロジェクト

〈目指す絵本の里づくりの姿〉

1. 次世代への**継承**
2. 地域文化の**象徴**
3. けんぶちを絵本の**聖地**に

〈主な実施事業〉



来館者（こども）へ
絵本読み聞かせ



絵本ポストや街灯、看板等の
街並み景観整備

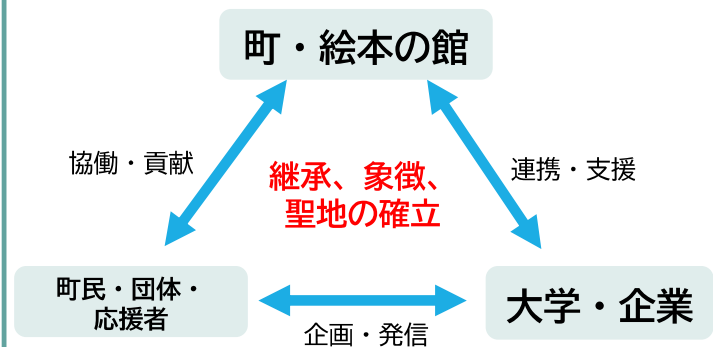


絵本作家による**特別授業**



北海道科学大学との
聖地化プロジェクト

〈持続可能な絵本の里づくり構想〉



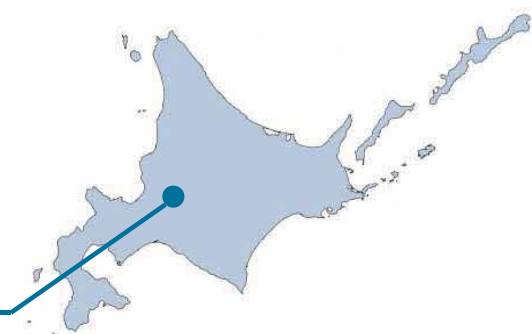
〈持続可能な絵本の里づくり構想の重点施策〉

1. 二地域居住（保育園留学）の推進
2. 大学・企業等との連携による聖地化プロジェクト
3. （仮称）絵本の里けんぶち つなぐ・ひろげる観光ツアー



一緒に絵本の里づくりをはじめませんか？

美唄市



美唄市長 桜井 恒 様

人口：約1万8千人
面積：約278km²

Bibai
Be Beautiful

官民連携プロジェクトへの参画・企業版ふるさと納税のお願い

Bibai Beautiful Challenge

～子ども・若者 × 企業連携挑戦応援プロジェクト～

2026/9/3

令和8年度「ほっかいどう応援セミナー(札幌)」



美唄市

美唄市

人口：17,587人

名物：米 / ハスカップ / 美唄焼き鳥 / 雪うなぎ

名所：アルテピアッツァ美唄 / 宮島沼

交通：札幌から特急で35分

高速で60分



< 課題 >

2040年に

- ・人口が半減する
- ・高齢化率が56%

になると予測され、地域課題が山積



美唄焼き鳥



アルテピアッツァ美唄

官民連携で社会課題を解決する取り組み

Bibai Be Beautiful

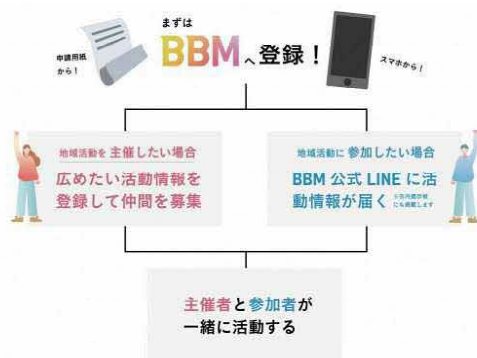
まちづくりムーブメント「BBM (Bibai Beautiful Movement)」

「美唄は、若者中心のプロジェクトから生まれた美唄ブランド「Be Beautiful 美しくあれ。」を掲げて、官民連携のまちづくりを推進しています。BBMは、「美しいまち」を実現するためのアイデアと、それを形にしようとする人々が集まる、市内外問わず誰もが自由に参加できるまちづくり活動マッチングプラットフォーム（＝地域活動のネットワーク）です。

BBM
登録者数
250人

BBM
活動数
140個

BBM活動
総参加者数
3005人



美しさを共通言語に集まった100人以上



子どもとレスラーと一緒にごみ拾い

美唄市

BBMの仕組み

子どもとまちの未来会議

18歳以下の子どもたちがまちづくりについて考え、自分たちのアイデアを市長たちに議場で発表します。可決されたアイデアは、市が伴走し、実行まで行います。



実際の議場で市長に提案



高校生がプロレスイベントを提案

美唄まちづくり部

小学生から高校生までの子どもたちが主役となり、地域の大人を巻き込んで、美唄市を盛り上げる活動をしています。



市役所でかくれんぼ（HTBで放送）



雪まつりで雪像建設



市外の企業や大学・プレイヤーとの連携

地域活性化起業人 14人（道内1位 / 全国6位）

都市部の民間企業などの社員が、専門知識やノウハウを活かして美唄に一定期間（1回～半月/月）在籍し、計画づくりやDX推進など地域課題の解決に取り組んでいます。



企業や大学とのワークショップ



美唄と市外をつなぐ交流拠点

地域おこし協力隊 32人（道内4位 / 全国13位）

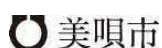
東京や札幌などの都市部から美唄へ移住し（任期基本3年）特産品開発や観光PR、農業・林業支援、スポーツ振興などの美唄の魅力向上に取り組んでいます。



協力隊を経て、カフェを開業



インターンを経て美唄に移住



「美しいまち、美唄」に向けた企業様へ共創のお願い

日本全国でこれから深刻化する課題を今経験している美唄

高齢者の生活の維持（買い物・交通） / 空き家 / 産品・産業の高付加価値化 / DX /
生活・観光インフラ整備 / 子育て・教育 / 人材・企業育成 / 医療・介護・福祉 / 防災

社会実証・実装の実験場としてのポテンシャルと
地域課題に取り組む子供たち・若者の熱量があります

フォーム登録
(団体用)

LINE登録
(個人用)



BBM登録
で
スカーフ
プレゼント!

<企業の皆さん美唄を使って一緒に未来を作りませんか>

- ・官民連携実証・実装プロジェクトの実施
- ・企業版ふるさと納税による社会課題解決

企業版ふるさと納税HP ▶

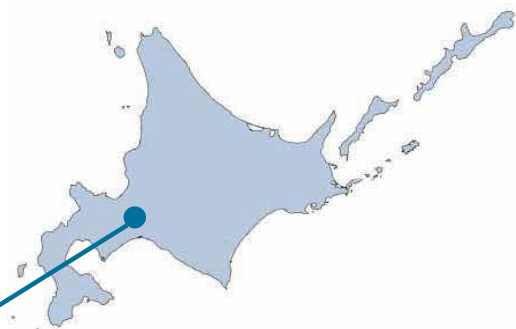


企業版ふるさと納税や地域協働に関するお問い合わせ：美唄市企画財政課 (Email: kikaku@city.bibai.lg.jp TEL:0126-35-7751)

北 エールを北のチカラに。
ほっかいどう応援団会議

北広島市

副市長 川村 裕樹 様



人口：約5万6千人
面積：約119km²



1 小さなまちの、大きな挑戦

大志を胸に、「究極の地方創生」の実現に向けて

北広島市は、北海道日本ハムファイターズの本拠地「エスコンフィールドHOKKAIDO」を核とする「北海道ボールパークFビレッジ」が開業し、新たな賑わいと可能性が広がる、挑戦しつづけるまちです。

クラーク博士が「Boys, be ambitious-青年よ、大志を抱け」の名言を残したゆかりの地でもあり、先人たちの「大志」と「挑戦」の精神を受け継ぎながら発展を続けてきた北広島市は、本年、**市制施行30周年**という大きな節目を迎えました。



ボールパーク開業の効果



観光客数
年間約**538万人**
全道**4位** (R6時点)



Fビレッジへの来場者
累計**1,000万人**
(R7.7時点)



北海道への経済効果
約**1千億円**/年
(MURCLレポート)



2 JR新駅建設プロジェクト

Fビレッジに隣接する新駅を整備

 Fビレッジに隣接した至近なアクセス

 2028年開業予定

 アクセスの向上による地域活性化

 新たな都市拠点の形成



期待される効果



地域経済の活性化



関係・交流
人口の増加



観光振興



企業立地促進



3 新駅が生み出す未来

新駅を中心とした新たなまちづくり

新駅を中心に、商業・雇用・居住・教育・観光

などがつながる新たなまちづくりが進行。

企業活動や投資機会も拡大しています。



©H.N.F.

新駅が北広島を目指す都市像の実現へ向けた**起爆剤**に

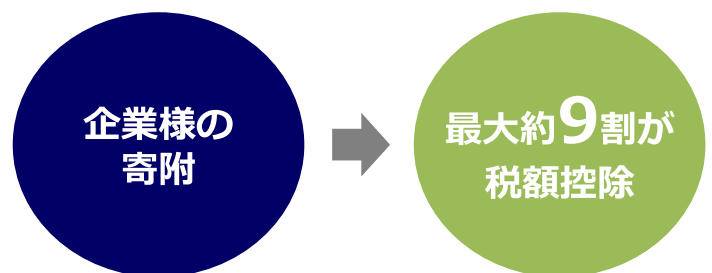


4 企業版ふるさと納税で応援してください

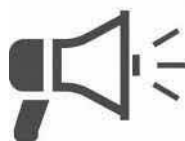
企業版ふるさと納税により

寄附額の最大 約**9割**が
法人関係税から軽減

実質的な企業負担を抑えながら、
社会貢献や企業価値向上につながります。



地域への貢献



企業価値向上



PR効果



5 企業様とともに未来を創る

**一社一社のご支援が、
北広島の未来を動かします。**

「官民連携」と「企業価値向上」を両立できる取り組みとして、
ぜひ、JR新駅建設プロジェクトへのご参画をご検討ください。

北広島市企画部企画課 企業版ふるさと納税担当 ☎011-372-3311

【mail】



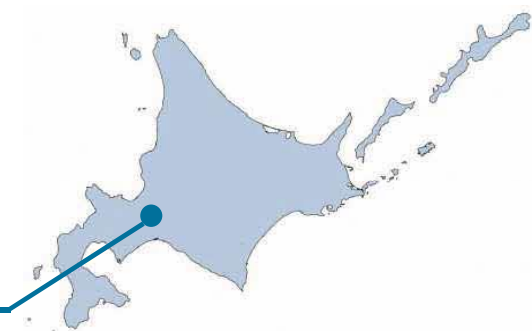
【市HP】



エールを北のチカラに。

ほっかいどう応援団会議

札幌市



副市長 加藤 修 様

人口：約195万人
面積：約1,121km²

札幌市の目指す姿と、共に乗り越えたい課題

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン

持続可能な世界都市・さっぽろ

「ひと」「ゆき」「みどり」が織りなす輝きが

豊かな暮らしと新たな価値を創る

・ユニバーサル(共生)／ウェルネス(健康)／スマート(快適・先端)
をまちづくりの重要概念に設定

・8つのまちづくり分野に基本目標を掲げ分野横断的な施策を展開

・市民 企業 行政など多様な主体が目指す姿を共有し共に推進



札幌市が直面する課題

持続可能な世界都市へー乗り越えるべき構造変化

①人口減少・担い手不足の顕在化

除雪や公共交通など、市民生活を支える人材の減少

②都市サービスの維持コスト増と持続可能性

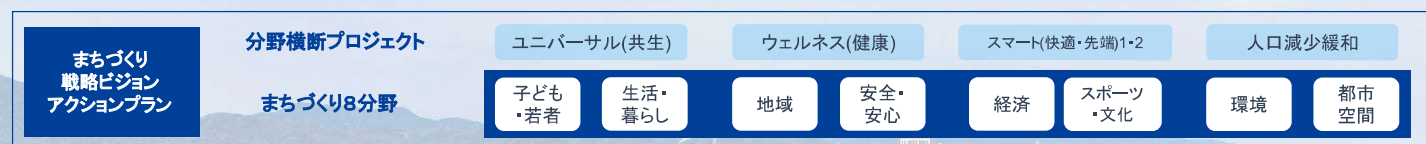
労務費・燃料費等のコスト増加と、公共施設・都市
インフラの老朽化への対応

③人口減少下における成長力の強化

GX・半導体等の成長産業の振興・観光活性化と、
市民生活の質の調和

『持続可能なまちづくり』に必要な2つの連携

札幌市の抱える地域・行政課題と、民間事業者の強み・関心をつなぐ



💡 官民共創

民間事業者の持つ技術・ノウハウ・アイデア等の活用

官民双方が強みを掛け合わせ、補い合うことで、互いにメリットを生み出しながら、地域・行政課題の解決に資する新たな価値の創出を目指す

❤️ 企業版ふるさと納税

札幌への期待を、寄附のカタチで応援

企業の理念や関心に合致する札幌市の地方創生プロジェクトを、寄附を通じて力強く後押しいただくことが可能

民間事業者の皆さまとの多様な連携を通じた、持続可能なまちづくりへ

ご相談・ご提案の入口『SAPPRO CO-CREATION GATE』



専用のポータルサイトにて、民間事業者の皆様からの官民連携に関する問い合わせや提案受付、地域・行政課題の発信、連携事例紹介、イベント情報の掲載等を実施



<https://www4.city.sapporo.jp/scg/>

札幌市官民連携窓口



2026.9月時点

約40のテーマ・課題に対する提案を募集中

皆さまと解決したい地域・行政課題の一例



まちづくり・環境・安心安全

募集期間：継続的に募集中
No.45

持続可能な雪対策の実現に向けた先進技術の活用や雪と共生するまちづくりに向けた取組



まちづくり・環境・安心安全

募集期間：継続的に募集中
No.048

市民や従事者等の安全・安心確保に資するヒグマ対策の取組強化



まちづくり・環境・安心安全

募集期間：継続的に募集中
No.31

若い世代がより一層札幌市の魅力・特色を感じられる取組の実施



経済・観光

募集期間：2025.06.30～2027.03.31
No.11

女性への就労支援（潜在的労働力の掘り起こし）



地域・文化・スポーツ

募集期間：継続的に募集中
No.44

プレミストドームの日常的な賑わい創出について



経済・観光

募集期間：継続的に募集中
No.57

半導体設計人材の育成実証・自律的エコシステム構築プロジェクト



健康・福祉・教育・子ども

募集期間：継続的に募集中
No.50

札幌らしい部活動の地域展開に向けた取組



まちづくり・環境・安心安全

募集期間：継続的に募集中
No.59

AI・ICT技術等を活用した下水道施設の新たな維持管理手法

企業版ふるさと納税で応援いただけるプロジェクト（一例）

「こども本の森 札幌・北大」への支援



提供：安藤忠雄建築研究所

世界的建築家の安藤忠雄氏が設計・建設する子ども向け図書施設「こども本の森 札幌・北大」を北海道大学と協力して運営します。この施設は子どもの読書活動推進を目的としており、令和8年夏の開館を目指して準備を進めています。

NoMaps支援



先端テクノロジーや斬新なアイデアを軸として、「新しい価値観/文化/社会の姿」を提案するコンテンツをテーマに、新たなインベーションや人的な繋がりを生み出し、社会を加速させるための場を提供するNoMapsの支援事業に活用致します。

札幌国際芸術祭の開催



札幌国際芸術祭は、3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える、特別なアートイベントです。次回開催は3年後（令和8年度）に予定しており、企画準備やプロモーション、イベントの開催などを行うために活用します。

スポーツの振興～スポーツによるまちづくり～



豊富な雪と都市機能が調和する世界有数の都市として、ウィンタースポーツを始めとするスポーツの普及・振興を図るための取組や、スポーツ施設の整備などに活用します。

さっぽろ圏「ひとづくり」プロジェクト



8市3町1村により形成される「さっぽろ圏」を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるための取組を行います。

ゼロカーボンシティを目指して



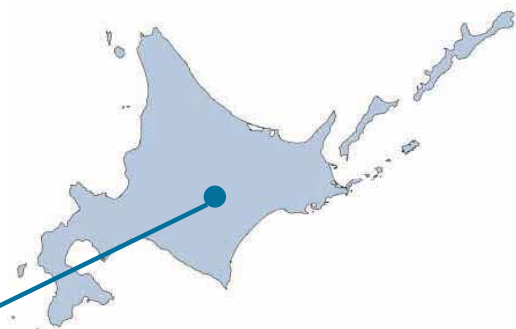
札幌市では、市内から排出される温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を進めています。寄付金は、今注目されている水素エネルギーの普及に活用します。

本日の交流会で、ぜひ札幌市のブースへお越しください！

北 エールを北のチカラに。
ほっかいどう応援団会議

鹿追町

鹿追町長 喜井 知己 様



人口：約5千人
面積：約403km²

2026(令和8)年 9月3日
ほっかいどう応援セミナー in 札幌

留学を核とした 鹿追型地方創生

自然体験 × カナダ × 保育園

鹿追から、北海道の未来へ。

鹿追町長 喜井 知己

2

Project 1

自然体験留学 × Zero Carbon

昭和63年から、663名の留学生を受け入れ、地域と未来を築いてきました。
「山村留学×Zero Carbon」という新たな価値を先導し、北海道に新たな人の流れを生み出していきます。



自然と学ぶ、豊かな環境

森・川・畑・雪原など、四季折々の自然の中で、子どもたちの好奇心と感性を育てます。



生きる力を育む体験

自然体験や農業体験、地域とのふれあいを通じて、思いやり・自主性・協調性・忍耐力を育みます。

令和8年度に、

太陽光 × 太陽熱 × 水素 × 自営線
マイクログリッドにより、

完全 ZEB の
自然体験留学センターを新築



太陽光発電



太陽熱利用



水素エネルギー



自営線マイクログリッド



完全 ZEB



※Image



3

Project 2

カナダ留学 × 地域の未来

40年続く、鹿追とカナダの交流。
本物に触れる学びが、世界へ羽ばたく人材を育てる。
その挑戦が、高校を支え、地域を支え、北海道の未来をつくります。



1985年、カナダ・アルバータ州
ストニープレイン町と姉妹提携を締結
それ以降、交換留学生の派遣や受け入れを行っています。



1996年から、鹿追高校2年生全員が
カナダに短期留学
人材の育成と両国の文化・歴史を学び、
国際理解教育を推進しています。



2週間のホームステイで、
本物に触れ、学びが変わる
地元の感謝祭参加や高校訪問などを通じて交流を深め、
実際に体験することで、英語を学ぶ意味を体感できます。



4

Project 3

保育園留学 × 新たなつながり

令和8年度から始まった、新しい「鹿追との出会い」
すでに5組の親子が、鹿追での暮らしを体験しています。
子育て世帯との新しい接点から、北海道の未来につなげます。



親子で、鹿追に暮らす。
こども園に通いながら、地域の日常を体験。
自然の中で、のびのびとした毎日を過ごします。



「観光」では出会えない、
地域の日常。
子どもは園で、親は地域で。
鹿追の暮らしに触れ、人とつながります。



訪れることから、関係が始まる。
一度の滞在をきっかけに、関係人口を生み、
将来の移住・定住につなげていきます。



5

鹿追未来サポーター

人を迎える。地域を育てる。

北海道の未来をつくる。

鹿追町の挑戦を、企業の皆さまとともに。

Project 1

自然体験留学

×

Zero Carbon

自然の中で学び、
持続可能な地域をつくる。

Project 2

カナダ留学

×

地域の未来

世界に羽ばたく人材を、
北海道から。

Project 3

保育園留学

×

新たなつながり

訪れることから、関係が生まれ、
未来の移住へ。

企業版ふるさと納税などを通じて、

鹿追町の未来を応援してください。

「鹿追未来サポーター」として、
北海道に新たな人の流れを、ともに作りませんか。

鹿追の挑戦を、北海道の未来へ。

企業の皆さまと、ともに作りたい。

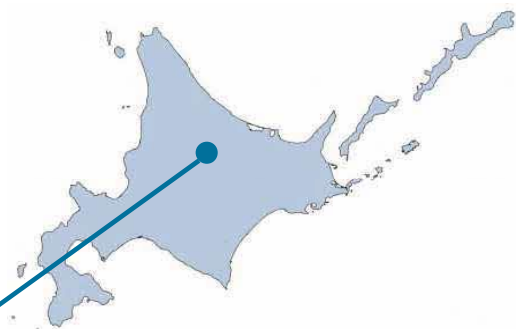


エールを北のチカラに。

ほっかいどう応援団会議

上川町

教育委員会 池端 広大 様



人口：約3千人
面積：約1,049km²

感動人口1億人のまち、上川町

1億人の感動を、 一緒に創る 1人になりませんか。

北海道上川町 × 企業版ふるさと納税ピッチ /
ほっかいどう応援セミナー



2026年9月3日

3,000人の町に、93万人が訪れる理由

北海道上川町 × 企業版ふるさと納税ピッチ / ほっかいどう応援セミナー
2026年9月3日



人口

約 **3,000人**



年間観光客

93.5万人



訪日外国人
宿泊者数管内1位

4.8万人

- ✓ 「北の山岳リゾート」コンセプト
- ✓ 日本一早い紅葉・黒岳ロープウェイ・氷瀑まつり
- ✓ 2018年～2026年で
20社以上の共創パートナーが集結
- ✓ 「前例がなくても、面白そうだからやってみる」

上川町は「町全体がひとつの学園」 ——生涯を通じた学びの連鎖

2024年始動「上川町学園構想」



1

幼稚園・保育

大雪山の自然の中で
遊び、
好奇心の種を蒔く



2

小学校・中学校

探究学習・
冒険ツーリズム・
放課後パラダイス



3

高校・大学

越境体験・
都市や海外への旅で
自己理解を深める



4

大人・社会人

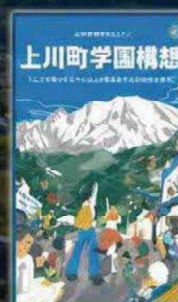
移住者・地域おこし協力隊・
企業人材が
「おせっかい人口」として支える

✦ 育てたい人物像： **WAGAMAMA人**

個性を大切に、自分らしさを発揮し、自分の意志で歩む。

変化の激しい時代に、正解を求めるよりも、自分にとっての幸せや生き方を探究できる人が未来をつくる。

私たちは、次の4つの理念を大切に、上川町からWAGAMAMA (我がまま) 人を育てていきます。



KAMIKAWORK——「面白そうだから、やってみる」が、まちを動かす



新しい暮らし・
新しい働き方

移住・定住・二拠点生活など
多様なライフスタイル



町のためが、
自分のためになる

プロジェクト参加は
立場を超えた繋がりを生む



国の人材制度＋
町オリジナル職種

地域おこし協力隊・
地域活性化起業人

地域おこし協力隊

10人

地域活性化起業人

17人

地域プロジェクトマネージャー

2人

東京事務所

2人

KAMIKAWORK
PROJECT

貴社に、3つのお願いがあります。



① お金の支援 (企業版ふるさと納税)

学園構想・KAMIKAWORKなど
上川町が進めるプロジェクトへの
資金支援



② プロジェクトの カウンターパートナー

貴社の専門知識・ノウハウを活かし、
上川町の課題解決プロジェクトに
共同参画



③ 人員支援 (カミカワーク参加)

社員を地域おこし協力隊・
地域活性化起業人として派遣



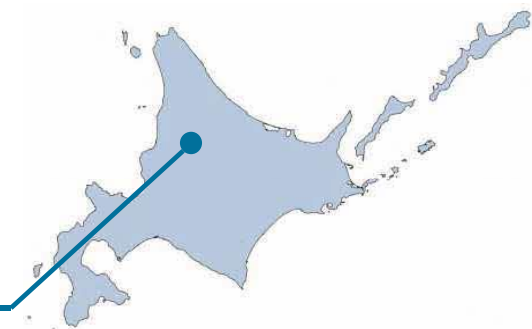
本日会場で、ぜひお声がけください。



エールを北のチカラに。

ほっかいどう応援団会議

鷹栖町



社会教育課 山岸 智也 様

人口：約 6 千人
面積：約139km²

子どもの未来育みプロジェクト

スポーツ・運動の機会創出で、子どもたちの可能性を広げたい。

北海道 鷹栖町

部活動地域展開

多世代スポーツ

地方創生



北海道応援セミナー 2026

鷹栖町とたかすスポーツクラブの挑戦

人口6,173人の町で、子どもたちがスポーツと出会い、育っています。

01 子どもたちが直面する課題 — 鷹栖はどう応えたか

子どもたちを取り巻く現実

- 外遊びより、ゲーム・スマホ
画面の中の関係が増え、リアルな人間関係が希薄に
- 運動機会の減少と体力低下
外で体を動かす習慣そのものが細っている
- 少子化でチームが組めない
学校単独では大会に出られない種目が増加
- 家庭・学校だけでは支えきれない
共働き世帯の負担増、教員の働き方改革も背景に



鷹栖町・たかすスポーツクラブの答え

- 誰もがスポーツに出会える
マルチスポーツクラブなど体験の入口を多数用意
- 好きになったら、続けられる
少年団から地域クラブまで受け皿を体系化
- 家庭の負担はクラブが引き受ける
送迎バス・保険・会計まで一括支援
- リアルな仲間と大人に出会える
指導者・地域の大人との関わりが社会性を育む

ゲームの画面から、コートへ。子どもたちがリアルな仲間と大人に出会い、成長する場を鷹栖はつくっています。

02

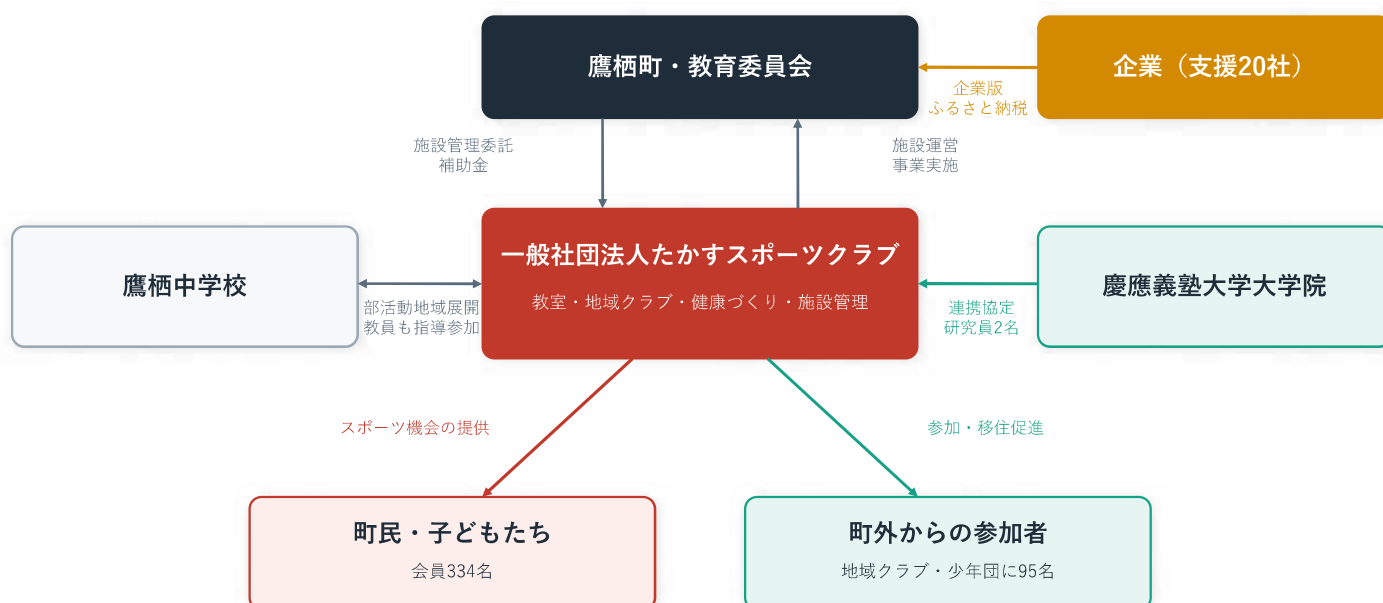
切れ目ないスポーツ環境 — 出会いから、継続まで



保護者は何も心配いらない。入口から継続まで体系的に揃う町は、なかなかありません。

03

町とクラブのパートナーシップ — 支えあいの全体像



町の信頼 × クラブの実行力 × 企業・大学の支援 — 三位一体で子どもたちのスポーツ環境を支えています

クラブが生んだ、まちの変化

① スポーツコミュニティの創出

- **家庭環境によらず、誰もがスポーツを**
教室はすべて町の送迎付きで共働き世帯も安心
- **中学生になっても継続できる**
部活動を地域クラブ化。切れ目ないスポーツ環境を整備
- **多様な大人との関わりが社会性を育む**
町民や高齢者、学校の先生が指導者として活躍。異世代の繋がりが人間性を広げる

② スポーツ交流人口の創出

- **町外から人が集まり、移住も**
地域クラブ・少年団に町外から95名。鷹栖が受け入れの中心に
- **旭川市内企業20社が支援**
スポーツの魅力が企業版ふるさと納税の輪を生む



慶應義塾大学大学院と連携協定

学術×スポーツ

連携協定を締結し、研究員2名が着任。町とクラブを研究フィールドに、スポーツイベントでのコミュニティ形成やベースボール5・テニピン等のニュースポーツによるまちづくりを実践。



吹奏楽まで。文化系も地域展開へ

成長フェーズ

野球・女子バレーに加え、吹奏楽も令和9年度末までに地域展開予定。文化系まで含めた受け皿づくりは全国でも珍しい取り組み。



子どもが、鷹栖で育つ

全国大会出場

NexusBCは29人中20人が旭川から通い、2年連続で全国大会に出場。「会場も指導者も仲間も揃う」が他にはない魅力。夏には花火大会の片付けを地域住民と共に。鷹栖町の子どものとして育つ。

子どもの未来
育みプロジェクト

家庭環境によらず、誰もがスポーツに出会い、夢中になれる町。その環境を未来につなぐために、皆様の力を貸してください。
一緒に、鷹栖の子どもたちの未来をつくりませんか。

誰もが、いつでも、いつまでも。

支援・連携のご提案



企業版ふるさと納税

鷹栖町への寄附として税制優遇を受けながら、スポーツ環境整備を支援いただけます。



活動協賛・スポンサー

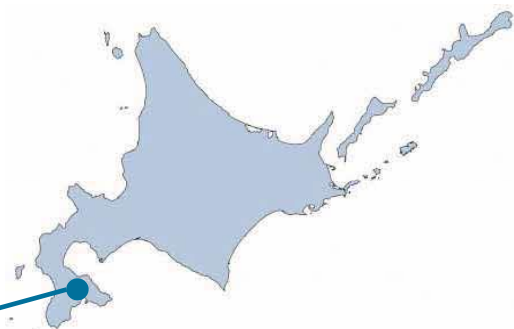
大会・教室への協賛。
クラブ活動を通じた御社ブランドの地域露出。



人材・知見の提供

指導者派遣・研修協力・共同研究など、御社のリソースを地域スポーツに活かす連携。

森町



地域おこし協力隊 吉田 雄人 様

人口：約1万3千人
面積：約369km²

ほっかいどう応援セミナー

**森高等学校野球部
復活プロジェクト**
～ 高校野球で町を盛り上げる！～



野球部の再生を、学校だけの挑戦で終わらせない。
高校生 × 地域 × 企業で、森町に新しい応援の輪を。

森高野球部の活躍を通じて実現したいこと

野球を入口に、人が集まり、関わり、応援し続ける仕組みをつくる

① チームづくり

選手が安心して挑戦できる
練習・活動環境を整える

② 地域との交流

子ども向け野球体験や
地域イベントへの参加

③ 応援の見える化

町民・企業・OB等が
関われる応援の輪をつくる

④ 町の活性化

試合・活動を通じて
森町への関心と交流を生む

森町 | 3

企業・団体の皆さまに応援してほしいこと

資金だけでなく、「できること」を持ち寄る共創型の応援を募集します

1 活動環境の支援

練習用具・備品、移動・遠征、活動環境整備など

2 人・ノウハウの支援

スポーツ指導、栄養、広報、キャリア教育、イベント運営など

3 地域交流の支援

野球教室、交流イベント、企業との共同企画など

4 情報発信の支援

SNS・映像・デザイン等で、選手と森町の挑戦を広く発信

企業版ふるさと納税を含め、具体的な連携方法は交流会でぜひご相談ください。

森町 | 4

一緒に、森町の「応援したくなるチーム」を育てませんか？



「高校野球で町を盛り上げる」挑戦に、
皆さまの力を貸してください。

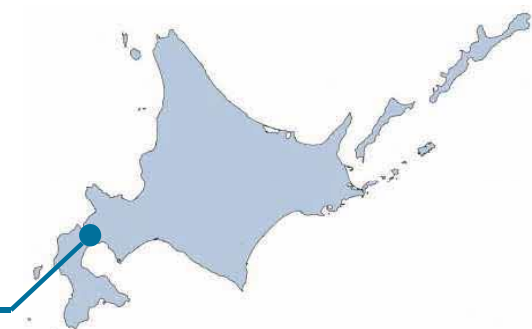
この後の交流会で、ぜひ森町ブースへお越しください。



森町 | 5

 エールを北のチカラに。
ほっかいどう応援団会議

黒松内町



地域おこし協力隊 近清 弘晃 様

人口：約2千人
面積：約346km²



黒松内町
KUROMATSUNAI TOWN

黒松内町から始まる、「環境再生型農業の実証」 ～産学官連携の次世代・循環型畜産モデルへの挑戦～

黒松内町地域おこし協力隊
めぐさとファーム

近清 弘晃
Chikakiyo Hiroaki



ブナ北限の里
づくり構想

1988年 — 30年余



それでも、
人は減る

使われない草地や農地が増加



守る から 増やす へ

ネイチャー
ポジティブ

本年度から総合計画の重点



その第一歩 = 環境再生型農業

黒松内町環境再生型農業プロジェクト

黒松内町 × 北海道大学

放牧羊による環境再生型農業

研究・実証を通じて、持続可能な食糧生産システムの確立と、地域環境の保全に貢献する



耕作放棄地に放牧した羊



羊を入れていた放牧地

国内自給率が低い希少性と需要 × 傾斜地への適性

- 一 使われない土地に羊を入れて、草地を管理する
- 二 管理の過程を測り、環境評価と羊の評価をする
- 三 その記録を、企業と組む理由に変える
- 四 同じ記録を、肉と毛の値段の裏づけにする

環境再生型農業を持続可能な事業として確立

羊の個体情報健康管理一覧 アプリで開く ...					
1 番	個体名(愛称)	測定日	BCS	体重 (kg)	前回増
88	ク4	2026/7/14	2.5	19.2	
89	ク5	2026/7/14	2.5	21.6	
90	ク6	2026/7/14	2.5	20.6	
91	メグ♀	2026/7/21	3	30.2	
92	サト♂	2026/7/21	3	37.7	
93	ク2	2026/7/21	3	24.3	
94	ク3	2026/7/21	3	30.6	
95	ク4	2026/7/21	2.5	18.8	
96	ク5	2026/7/21	2.5	22.6	
97	ク6	2026/7/21	2.5	22.3	
98	ラクサフォ	2026/7/22	3	88.6	
99	シロビジン	2026/7/22	3	56.6	

個体の情報はとても重要



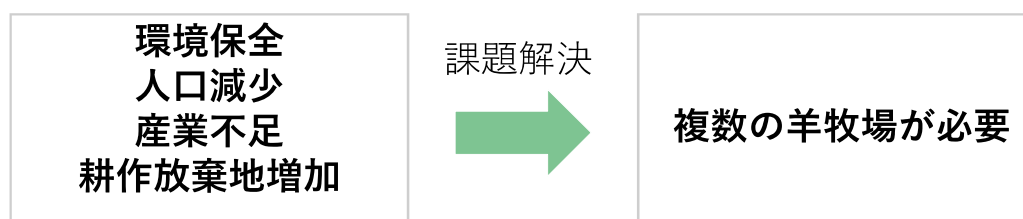
草量を基準としてローテーション

測るもの：個体記録・土壌炭素・植生の種数・被度・糞虫etc

共同：北海道大学 内田義崇 准教授

羊を入れる前を測れるのは、来年の一年だけ。

目標：5年目で1000頭



資金不足：大規模畜舎、羊の購入、エサ・放牧地
 環境調査：専門家及び私たちの継続調査
 AgTech：羊に適用できる機器開発



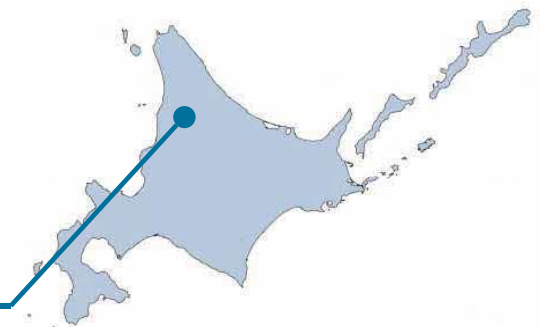
見学のお申し込み・お問い合わせ
十月のうちに見ていただけると、来年度のご予算に間に合います。

黒松内で育てて、黒松内から出す。

ブースと交流会でお待ちしています。

 エールを北のチカラに。
ほっかいどう応援団会議

幌加内町



地域おこし協力隊 矢嶋 尊 様

人口：約 1 千人
面積：約 767km²

ほろかない町



幻の魚イトウが棲む日本一の人造湖
シュマリナイ

引用：朱鞠内HP
<https://www.shumarinai.jp/lakeshumarinai/lakeshumarinai-about/>

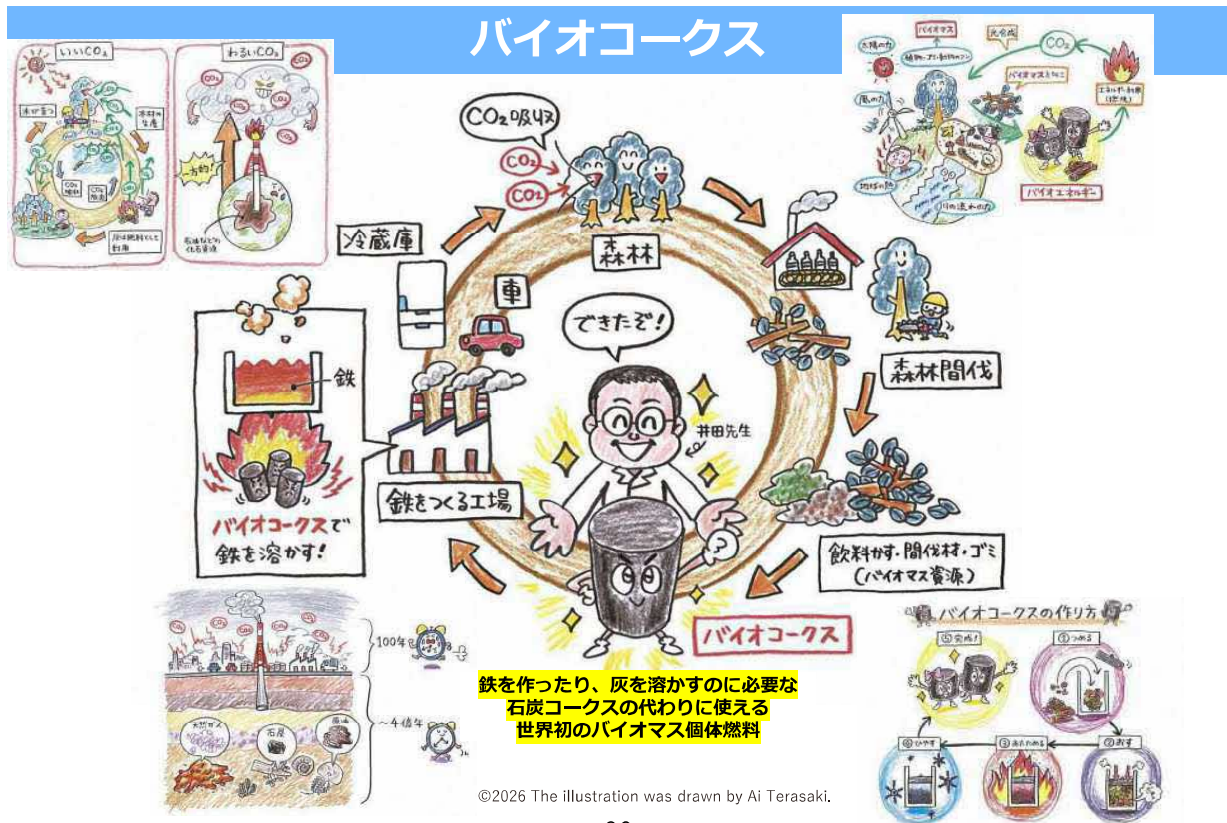
日本一のそば畑

引用：横加内町HP
https://www.town.horokanai.hokkaido.jp/shiru/town_no1

地図引用：Google社「Google Map、Google Earth」
https://www.google.co.jp/maps/place/%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E9%9B%A8%E7%AB%9C%E9%83%A1%E5%B9%8C%E5%8A%A0%E5%86%85%E7%94%BA/@44.1920816,141.8422097,10z/data=!3m1!1e3!1m1!1s0x5f0db16a84f7733:0x5f9a5744dfe5e2f9!8m2!3d44.0099445!4d142.1538429!16zL20vMDUxYmc5?hl=ja&entry=ttu&g_ep=EgoyMDI1MDczMC4wIjKXMDSoASAFQAw%3D%3D

○上川管内西部 総面積767km²(約8割が山林・原野)※旭川市:748km²
○人口1,193人、世帯数695世帯(2026/5/30現在)※旭川市:309,719人
○基幹産業は農業(稲作、畑作)、そば作付面積、収穫量ともに日本一
○全国平均に対し、60歳以上の年齢層割合が高く、青壮年割合は低い

35



36

ほろかない町のバイオコークス事業

そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業



37

そば殻バイオコークスの販売例



38

ほろかない町バイオコークス事業の受賞

令和7年度
北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞

■ **新エネルギー部門 大賞** ■

受賞者名	幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム
構成員	幌加内町、きたそらち農業協同組合、エア・ウォーター北海道(株)、JFE条鋼(株)、(株)巴商会

■取組内容

そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業

■選考理由

- ・日本一のそばの生産地である幌加内町で、地域で発生するそば殻からバイオ燃料を製造する技術と、エネルギー地産地消の取組は高く評価できる。
- ・灯油・重油が主体の農業用の暖房エネルギーを転換できれば北海道のCO2削減への効果は大きいと予想する。

引用：北海道庁HP

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/1/2/2/4/7/3/3/4/_/%E3%81%9D%E3%81%B0%E6%AE%BB%E3%82%92%E5%8E%9F%E6%96%99%E3%81%AB%E7%94%A8%E3%81%84%E3%81%9F%E4%BD%8E%E3%82%B3%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%82%B9%E8%A3%BD%E9%80%A0%E6%8A%80%E8%A1%93%E3%81%AE%E5%AE%9F%E8%A8%BC%E4%BA%8B%E6%A5%AD.pdf



令和7年度 北国の省エネ・新エネルギー大賞の受賞者を発表します
～大賞は幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム「そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業」～

【大賞】幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム
～そば殻を原料に用いた低コストバイオコークス製造技術の実証事業～



【低コストバイオコークス製造実証事業の概要】

- ・地域資源の活用によりコストを抑えつつ、バイオコークス化を図り、CO2削減を実現する先進的な脱炭素に向けた取組。
- ・実証を継続し、製造工程・乾燥処理などプロセスを見直し、効果的な技術を確認。
- ・持続可能な地産地消モデルを創出し、地域経済の活性化にも貢献。他地域へ横展開が可能。
- ・2026年度からの商用操業を開始予定しており、北海道内のCO2排出削減の効果に期待。

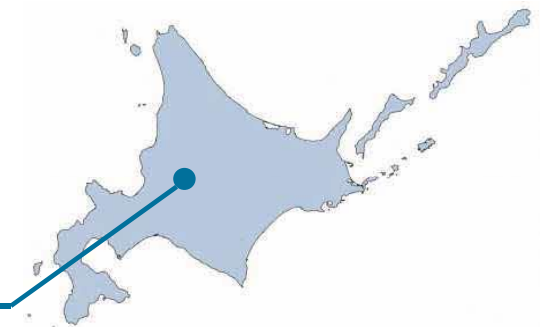
引用：経済産業省北海道経済産業局HP

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokkai/20260129/outline.pdf>

39

北 エールを北のチカラに。
ほっかいどう応援団会議

上砂川町



人口：約2千人
面積：約40km²

35

令和8年度上砂川町ドローン推進プロジェクト 全体像

特例飛行が行える実証フィールドの提供を通じた「関連企業の誘致」と「地域産業の活性化」を実現



1. 調査事業 (※1)

代表者： 豊田通商

町の立場： 協力者

申請日： 3月31日（内閣府）

認定日： 5月29日（内閣府）

実証期間： 1年間

事業分野： ヒグマ対策

事業概要

- （1）面的運用の構築と有害鳥獣検知の技術の検証
- （2）事前許可を不要とする運用に向けた制度整理

町の役割

- （1）フィールドの提供
- （2）調査事業の推進を支援

2. 国家戦略特区制度

申請者： 上砂川町、北海道、豊田通商、そらいいな

連携団体： 北海道科学大学、民間事業者4社

申請日： 3月11日（国土交通省）

一次回答： 現行制度により対応可

認定日： 未定

事業費： 未定

事業分野： ヒグマ対策

提案概要

- （1）期間・区域の明確化（事前許可の不要化）
- （2）面的運用の位置づけ
- （3）第三者上空の解釈明確化

町の役割

- （1）フィールドの提供
- （2）ワンストップセンターでの管理

3. 地域社会DX推進パッケージ事業

代表者： KDDI、KDDIスマートドローン

町の立場： 参画

申請日： 5月22日（町から道へ申請）

決定日： 6月30日

実証期間： 2年間

事業分野： ヒグマ対策、防災、森林、観光、防犯他

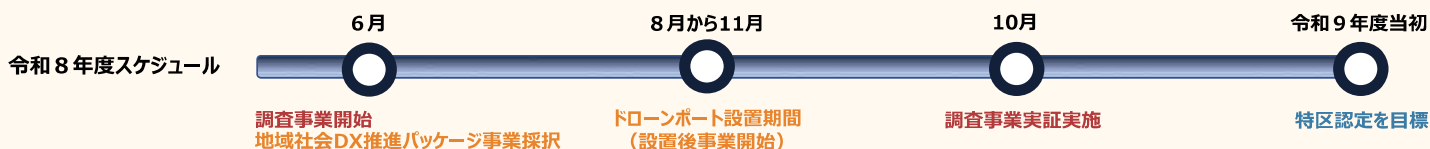
事業概要

- （1）衛星直接通信によって課題解決可能か検証
- （2）社会インフラとして機能するか検証

町の役割

- （1）フィールドの提供
- （2）ドローンポートの活用

※1 『令和8年度スーパーシティ、デジタル田園健康特区、連携“絆”特区等における先端的サービスの開発・構築及び規制・制度改革に関する調査・実証事業』



特区の中核的な 提案と運用モデル

特区の緩和提案：レベル3.5飛行の「エリア単位・事前許可不要化」
ドローンによるヒグマ対策において、迅速な「予防的巡視」を実現するための
規制緩和

特区の特徴：町主体の「ワンストップセンター」運用モデル

町自らがワンストップセンターを設置し、主体となって徹底した安全管理を行う
新しい枠組みの構築

令和8年6月現在